

令和5年度当初予算案のポイント

教育委員会

1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる

- (1) 認知や発達の特性に合った学びの充実実証研究事業、GIGAスクール構想をけん引するDXリーディング校事業、個別最適な学び研究事業 【令和5年度当初 9,403千円 (令和4年度当初 一 千円)】
個々の特性に応じた教育の在り方や特性を把握するアセスメントの活用、GIGAスクール構想をけん引するリーディング校の指定、自らが学習を調整し最適化する学びに取り組む学校への支援などにより、個別最適な学びと協働的な学びを推進
- (2) 特色ある私学・民間等と連携した「探究」研修プログラム開発運用事業 【令和5年度当初 5,558千円 (令和4年度当初 一 千円)】
私立学校や民間企業等と連携した教員養成研修プログラムの開発や学びの改革を担う教員研修の充実により、探究を中核とした学びを推進
- (3) 欠員対策のための教員配置事業、産育休代替教員の事前配置による子どもの学び継続事業 等 【令和5年度当初 783,876千円 (令和4年度当初 602,712千円)】
年度途中の欠員に機動的に対応する教員の配置や産育休代替教員の年度当初からの前倒し配置、教員業務支援員や小学校高学年への専科指導教員の配置などにより、教員の業務負担を軽減
- (4) 県立高校改革推進懇談会開催事業、県立高校再編実施計画検討事業、長野スクールデザイン(NSD)実施事業 【令和5年度当初 52,904千円 (令和4年度当初 65,293千円)】
県立高校改革推進懇談会（仮称）の開催や、「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した統合新校の目指す学校像や教育方針の検討、探究的な学びのための学習空間デザインを取り入れた基本計画の策定など、地域と協働し新たな高校づくりを推進

2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる

- (1) 夜間中学設置検討事業 【令和5年度当初 3,933千円 (令和4年度当初 一 千円)】
教育機会確保法の趣旨等を踏まえ、県内に設置のない夜間中学の設置について、有識者や市町村関係者を交えて検討
- (2) サマースクール等を活用した多様な学びの機会創出事業 【令和5年度当初 4,649千円 (令和4年度当初 一 千円)】
民間団体等と連携し、サマースクールの開催や特色ある体験プログラムの企画など、学校外での多様な学びの機会を創出
- (3) 特別支援学校改革事業、障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業 【令和5年度当初 158,592千円 (令和4年度当初 96,290千円)】
自立活動担当教員の増員による行動支援の専門性や対応力の強化、ICT・ATを活用し特性やニーズに応じた支援、通級指導教室の増設などにより、特別支援学校改革を推進
- (4) スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業 等 【令和5年度当初 349,379千円 (令和4年度当初 342,962千円)】
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる支援時間の拡充や相談窓口の開設により、児童生徒の悩みに寄り添い安心して学校生活を送れる体制を充実

3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる

- (1) 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業 【令和5年度当初 2,742千円 (令和4年度当初 一 千円)】
学校と社会が連携した学びの共創による地域づくりを実現するため、研究校へのコーディネーターの配置や産学官民との協働による新たな地域連携の在り方を検討

4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

- (1) 新「長野県史」編さん検討事業 【令和5年度当初 745千円 (令和4年度当初 一 千円)】
戦後の現代史を中心に歴史的な資料の散逸及び消滅を防ぎ、長野県の網羅的な歴史を後世に継承する新たな長野県史の編さんについて検討
- (2) 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業 【令和5年度当初 43,559千円 (令和4年度当初 一 千円)】
地域全体で中学生のスポーツ・文化活動の機会を確保するため、運営組織やスポーツ団体等の体制整備、指導者確保等を支援
- (3) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催準備事業、第82回国民スポーツ大会に向けた競技力向上事業 【令和5年度当初 508,594千円 (令和4年度当初 319,559千円)】
「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催に向け、競技役員等の養成や市町村競技会場の施設整備への支援を行うとともに、競技力の向上及び維持・定着を目指し、各競技団体の選手強化の取組に対する支援等を拡充